

その人らしい最期につなげる 支援の工夫

幸せな最期とは...

社会福祉法人岳陽会 特別養護老人ホーム岩本園

施設概要

- ・開設: 昭和61年4月1日
- ・従来型多床室
- ・定員: 入所70名・短期入所10名
- ・入所者平均年齢 86歳
- ・平均介護度3.66
- ・提携医療機関 医療法人秀峰会 川村病院



過去5年間の看取り件数

	件数	総死亡者数からの割合
平成28年度	12件	63%
平成27年度	8件	80%
平成26年度	13件	76%
平成25年度	14件	87%
平成24年度	21件	80%

事例紹介

- ・A様 94歳 女性 要介護3
- ・アルツハイマー型認知症の進行により自宅介護困難となり、通所介護短期入所を利用した後に平成25年8月当施設に入所。
- ・性格は朗らか。
- ・ご家族との関係は良く面会も多く、職員とご家族との関係も良好であった。

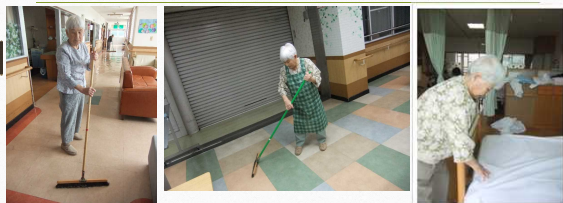
A様とご家族



A様とご家族②



A様の日常の様子①



A様日常の様子②



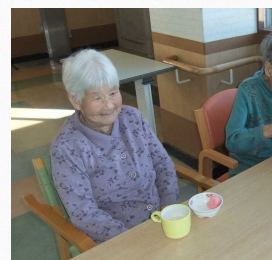
取り組んだ課題

A様は平成28年1月頃より食事量が減り、検査で胃潰瘍とポリープ、肝臓に腫瘍、肝膿瘍が見つかる。今後についてはご家族の意向で、高齢であることから手術はせず自然な形で、当施設の看取りを望まれる。

具体的な取り組み

経過①

高カロリーゼリーや果物等好きな物を用意し食事が進むよう努めていたが、徐々に身体機能も低下。



経過②

4月10日に転倒、左大腿部頸部骨折した後も少しずつ状態低下。



経過③

8月6日看取り介護開始となる。看取り検討会にて、A様が最も望まれていた「家に帰る」ことができないか話しあう。



経過④

今の状態なら数時間の外出は可能ではないかと意見がまとまりご家族へ提案。



経過⑤

ご家族もぜひ実現したいとのことで、介護職員が同行し8月12日一時帰宅する。



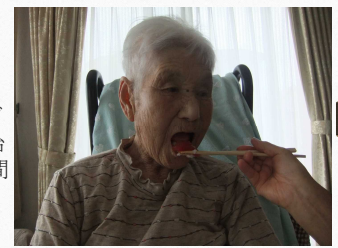
自宅へ外出

当日は15人程の大勢のご家族が集まる。



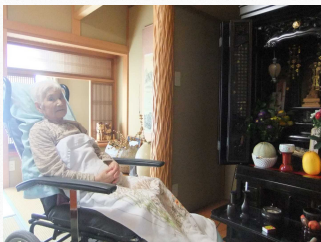
自宅へ外出②

A様は食事はほとんど食べなかったが、終始笑顔でにぎやかな時間を過ごされた。



自宅へ外出③ 仏壇の前で

最初は仏壇の前で少し戸惑う様子も見られましたが、ご主人の位牌があることを説明すると、手を合わせていました。



それから4週間後

9月5日、朝からほとんど発語もなく職員間で状態変化を察知。5日後に敬老会を予定していたが、急遽A様のお祝用の洋服に着替え、ご家族と共に写真を撮られた。



最期

それから1時間後、呼吸状態が悪化。次々にご家族が集まり、20人程の大勢のご家族に見守られA様は静かに息を引き取られた。



活動の成果と評価

後日ご家族より「悔いはない、岩本園でよかった」という何よりも得がたいお言葉を頂いた。
協力的なご家族であったことも大きいですが、A様とご家族双方が希望された一時帰宅が実現できたことは、職員にとっても大きな成果となった。

今後の課題

様々な状況の中でご本人やご家族の希望を叶えるために、その方を知ること、そして信頼関係を築くことは入所時より始まっている。職員はその情報を共有しどう活かしていくかが、今後の課題となる。

ご清聴ありがとうございました